

## 西部ブロック交流会の様子をご紹介します♪

# ～活動を広げる「つながり」について考えよう!!～

11月24日(木)にサントピア大竹において、西部ブロックボランティア交流会を開催し、約180人の参加がありました。

今年の交流会は、今後さらにボランティア活動を広げていくために、「若い世代とのつながり」や「新たな仲間や団体とのつながり」など、活動をすすめるうえで大切な“つながり”のあり方について参加者同士で語り合い、考えました。

### パネルディスカッション

#### 「活動を広げるためにつながる!?!～若い世代の声を聴いてみよう～」

パネルディスカッションでは、活動を広げていくための「つながりづくり」について、若い世代、特に大学生に焦点をあて、パネリストの2人から東日本大震災の現地支援活動や「学生と地域をつなげる絆づくり事業」等の実践から学んだことを話していただきました。

学生は授業等で活動できる時間が限られていることや、また活動場所までの交通費等の経済的な面など、学生がボランティア活動をしていくうえでの課題が明らかになりましたが、「試験や授業があると参加が難しいけれど、活動がある時は声をかけ続けてほしい」といった学生の思いを聞き、今後活動を一緒に進めていくために必要な視点について参加者みんなで共有しました。



#### ◆パネリスト

広島国際学院大学大学院 小川 弘法  
広島大学大学院 鈴木 英士

#### ◆コーディネーター

(社福)広島県社会福祉協議会  
地域福祉課 主任 吉野 篤史

### 情報交換会① 「ここから言える!私がしているボランティア活動は…」

ボランティア活動の魅力や喜び、また活動を続けていくなかでの悩みや課題について、本音で語り合い、市町を越えたボランティア同士が交流する場になりました。



～情報交換会の様子～

### 情報交換会② 「つながるためには？」

午前中のパネルディスカッションをふまえ、活動を広げていくために「若者とつながるためにはどうしたらいいか」「あたらしい仲間を増やすにはどうするか」について考えました。

参加者からは「一度断られたからと言って諦めるのではなく、継続して声をかけ続けたい」「まず自分たちの活動を知ってもらうことが必要。広報などのPR方法を考えたい」などのいろいろな意見が出されました。

## 休憩時間



素敵なものばかり  
でどれにしようか  
迷ってしまいます

作業所等手作り品の販売



山口県和木町  
V連の通地さん!

マジックのアトラクション



東部ブロック交流会の様子をご紹介します♪

# 「ささえ愛、たすけ愛、ともに生きるために」 Vハートひろしま東部ブロック交流会in世羅

9月4日（日）、世羅町甲山農村環境改善センターにおいて、Vハートひろしま東部ブロック（福山市、尾道市、三原市、府中市、竹原市、世羅町）交流会が開催され、172人もの参加がありました。

今回の交流会のテーマは「ささえ愛、たすけ愛、ともに生きるために」。東日本大震災が発生して、あらためてボランティア活動の社会的重要性が再確認されるなかでの本音で語り合える貴重な場となりました。

グループワークでは、「災害とボランティア」「日ごろの活動成果と今後について」というテーマで話し合いました。「災害が起きたときに備え、日ごろからグループ同士のつながりが大切」「各グループがどんなことに取り組んでいるか知る必要がある」など、それぞれの地域でのボランティア活動を通じて得た気づきや思いを語り合い、参加者同士熱心に意見交換や情報交換を行いました。

また、午後からは普段の活動の疲れを癒し、リフレッシュするためにあえてフリータイムとし、世羅の味覚と自然を大いに満喫しました。



東部ブロック交流会実行委員会 大原実行委員長 挨拶



グループワークの様子



～アトラクションの様子～



もみじれん  
紅葉連の阿波踊り  
大変好評でした！



～昼食の様子～

学生の地域活動応援  
プロジェクト実行委  
員会のメンバーも  
参加しました☆



## ☆☆参加者の声をお届けします☆☆

初めて参加しました！  
ボランティア活動の取り組みなど幅広く知ることができ、とても勉強になりました。

各地域での活動について話を聞かせていただき、自分の地域でもできることは取り入れたいと考えています。

いろいろな人の経験を聞かせてもらい、良い勉強になりました。私なりに頑張ります！

自分の地域に帰り、若い人に入会してもらえよう努力したいと思います。

次回の東部ブロック  
交流会開催地は  
尾道市です♪





北部ブロック交流会の様子をご紹介します♪

# 「北部ブロックの活動者が集合！！」

県北部市町でボランティア活動に取り組む仲間が集い交流し、情報交換や提案を受け、今後の活動を推進することを目的に、10月8日（土）に三次市福祉保健センターで北部ブロック交流会を開催し、当日は80人の参加がありました。



～開会式の様子～



～講演の様子～

## 「ここで暮らし続けたいの思いをつなぐ」

NPO法人ひろしまね 理事 藤槻 篤範 さんを招き「ここで暮らし続けたいの思いをつなぐ」と題し講演していただきました。

高齢化・少子化、さらには無子化が進み、集落機能と共に住民自治機能も低下したことで、社会生活の維持すら困難になっている中国地方中山間地域の現状があります。そこに目を向け、そうした地域での高齢者の生きがい・生活支援のあり方を考え、行政や各機関・組織・地域住民の意見や提案を汲みあげながら、いかにしたら可能な限りそこで暮らし続けることができるかを模索した結果わかった、総合的な地域運営・経営システムの必要性について、データを示しながら発表・提言され、「苦境を逆手にとり良い方向に発想の転換をすべき」だと、一石を投げられました。驚きと感銘を受け、私たちに何が日々できるかを考えさせられました。

## \*\*\*～市域を越えた交流をとあして～\*\*\*

交流会は、①地域ボランティア ②施設ボランティア ③技術ボランティア ④ボランティア全般 の4つのグループに分かれて行いました。活動の紹介や、困っていること・嬉しかったことなど活動を通じての思いや悩みについて、短時間ではありましたがグループ内で話しをし、交流することができました。

その後の全体発表では各グループの内容を聞くことで、活動への思いや情報を共有することができました。どのグループからも、「支える・支えられるの問題ではなく、自分自身が相手に喜んでもらうことや相手の笑顔で元気づけられる」「活動することでたくさんの出会いがあり楽しい」「他の活動を知ることができ有意義だった」との良い意見が出された反面、多くのグループから「会員の高齢化が進み、活動の継続が危ぶまれる」との意見があり、大きな課題も見えてきました。

こうして活動している人同士が一堂に会して、講演を聴き交流することは、お互いの刺激になり、発想の転換にもなる良い「場」になりました。



～分科会の様子～



～各グループに分かれて協議～

☆Vハートひろしま通信では、活動のお知らせや活動の様子など、会員のみなさまの声(投稿)をお待ちしております。メールやFAXなどでお寄せください。

☆この通信をご覧になり、それぞれのボランティア連絡協議会やボランティアグループのさらに詳しい活動について知りたいと思われた時は事務局にご連絡ください！

TEL:082-254-3506



みくち  
担当：三口